

国際保健医療分野で働くことを志す人必見！

経験豊かな
講師陣に聞く

看護師の立場から 国際協力

無限大

看護師の可能性 ∞



看護師の資格を活かして国際協力に関わってきた（いる）講師が、キャリア形成や現場の活動について語ります。国際保健医療分野で働くことを志す方、ぜひお越しください。

1	'13 6/14 (金) 18:30~20:30	タンザニアでの3年間の母子保健活動を通して タンザニアで母子保健の向上のために活動してきた講師が、3年に及ぶ現地の活動を通して学んだこと、感じたことを分かち合います。 マガフ範子（なおこ）（助産師・JOCSタンザニア派遣 2007~2009）
2	'13 8/10 (土) 17:00~19:00	看護の国際協力 -カンボジアでの活動と帰国後のキャリア- カンボジアで母子保健や結核対策の活動に携わるまで、現場での活動の実際、そして帰国後のキャリアをたどり、国際協力に携わるとはどのようなことかを考えます。 柳澤理子（愛知県立大学看護学部教授・JOCSカンボジア派遣 1989~1995）
3	'13 12/14 (土) 17:00~19:00	インドネシアでの保健医療活動の経験を通して インドネシアにおいて、約12年間、青年海外協力隊看護師隊員や保健医療プロジェクトの仕事を通して、看護師として経験したこと、感じたことなどをお話しします。 八田早恵子（名桜大学人間健康学部看護学科助手・元NPO(HANDS)プログラムオフィサー）
4	'14 / 日程未定 (決まり次第、ホームページでお知らせいたします。)	看護の基礎と多様性を考える カンボジアの農村地域の郡病院、保健所、プライマリ・ヘルスケア、住民参加型開発、女性シェルターなどでの活動の経験から、看護の基礎と多様性を考えます。 諏訪恵子（大阪発達総合療育センター児童発達支援センター「ふたば」勤務・JOCSカンボジア派遣 2004~2011）

その他
保健医療
勉強会
企画

'13 9/27 (金) 18:30~20:30

被災地におけるメンタルヘルスケア

被災地における、被災者、支援者、ボランティアの立場の違いを踏まえたうえで、それぞれの理解と関わり方を、時間の経過と照らし合わせながら考察していきます。

白石仁美（カウンセラー・JOCS釜石派遣）

'14 3/14 (金) 18:30~20:30

Bangladesh の田舎のクリニックで活動して

医療へのアクセスが困難な貧しい人達にサービスを届けるには？診療担当スタッフと共に活動した医師が、経験や感想を報告します。

乾 眞理子

（医師・JOCS Bangladesh 派遣 2010~2013）

■会場 JOCS 東京事務局 新宿区馬場下町 1-1 早稲田 SIA ビル 4 階（東西線・早稲田駅から徒歩 2 分）

■受講料 1000 円（JOCS 会員は 500 円） ■定員 各回 30 人（先着順）

■お申込方法 各回、JOCS ホームページからお申込みを受け付けます。（締切は各回とも開催日の前々日まで）

お申込・お問い合わせ：公益社団法人 日本キリスト教海外医療協力会 (JOCS)

TEL 03-3208-2416 FAX 03-3232-6922 info@jocs.or.jp